

## コーディネーター 協と共催で研修会

### 再開発ビル活性化NW

再開発ビル活性化ネットワーク（藤山正道理事長）は2日、全国市町村再開発連絡協議会や大阪市街地再開発促進協議会、再開発コーディネーター協会と共催で2月研修会を開いた。写真。関係者ら約80人が参加した。国土交通省都市局市街地整備課の恵崎孝之課長補佐が「市街地再開発事業の最近の動向」をテーマ



に講演した。恵崎課長補佐は、市街地再開発事業関係予算について解説。「資材高騰が一段落した

ことで2015―16年度は再開発ビルの出来高が急増するだろう。20年の東京オリンピック以降はいまと同じくらいの水準になると見ている」と見通しを語った。

また「国交省の社会資本整備審議会では、今後の市街地整備や新たな時代の都市マネジメントのあり方について検討を進めている。これからも、大都市の国際競争力強化と密集市街地の解消、コンパクトシティーの実現に向けて協議を重ねていく」と述べた。

